

意見書案第 9 号

神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書

このことについて、綾瀬市議会会議規則第 14 条第 1 項の規定により、次のとおり提出する。

令和元年 12 月 17 日提出

提出者	綾瀬市議会議員	安藤多恵子
賛成者	同	三谷小鶴
同	同	武藤俊宏
同	同	金江大志
同	同	比留川政彦
同	同	畑井陽子

神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書

県の私立学校は、各校が建学の精神に基づき、豊かな教育を作り、教育を支える担い手としての役割を果たし続けてきた。

県の私立高校に通う生徒の保護者に対する学費補助制度は、年収590万円程度までの世帯には、平均授業料相当額が助成されているものの、高額な施設整備費が全て保護者負担となっており、学費負担が可能な家庭でも、不測の事態が起きて家計が急変すれば、たちまち学費の納入に支障を来す状況である。

さらに県の私立学校に対する生徒1人当たり経常費補助は全国最下位水準とされ、そのため入学金を除く私立高校の平均学費は関東で最も高く、全国的にも極めて高い学費となっている。

高い学費により私立高校を選択することができず、県の公立中学校卒業生の全日制高校進学率は、全国的に低い水準が続いている。

全ての子供たちに学ぶ権利を保障するためには、私学助成の抜本的な改善によって私学経営の安定を図り、保護者の学費負担を軽減することが急務であると考える。

よって、県においては、私学助成の拡充を図るよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月17日

綾瀬市議会議長 松 澤 堅 二

神奈川県知事 あて

(提案理由)

私学助成の拡充を求めるため、神奈川県知事に意見書を提出いたしたく提案するものであります。